

## 金城さんの台湾レポート

大家好！皆さんお久しぶりです。台湾に留学している金城です。最近熱くなってきましたね。台湾でも、4月に入って日中は30度超え、最近だと体感温度が41度なんてこともあったりしますよ。私が住んでいる場所は台北市よりの新北市で、台北盆地となっているので気温が上昇しやすく、かつ内部になるので風がまったくありません（泣）これから夏本番になるので、皆さん熱中症などには気をつけていきましょうね^^

そういえば、前回のレポートで学校名は新北市立新北高校というふうに紹介したのですが、正しくは国立新北高校でした笑。学校名を間違えるというあってはならない間違いをしてしまった金城です…すみません、気をつけます。

それでは、前回のレポートでも予告したとおり、学校生活の生活面編について紹介していきたいと思いま～す。

日本の学校とはちょっと違うな～と思ったことを箇条書きにして紹介しますよ～

### 【学校】（生活面編）

#### ① 制服の着こなしが自由

日本の高校や学校だと、制服を着て登校し、体育がある場合は体育着に着替え、また制服に着替え…って感じですよ。夏だと夏服、冬だと冬服を着るのが当たり前なのですが、台湾ではちょっと違いますよ～

私の学校の場合は、下は体育着のズボンで上は制服のシャツって組み合わせが主流です。

なんでそんなふうに着るの？と友達に聞いたら、「このほうがおしゃれに見えるから」とのことです。

うーん、なるほど。

制服は夏でも冬服を着ていいし、冬でも夏服を着ても大丈夫です。

#### ② 女子でも制服のズボン着用可能

日本だと、「女子はスカート」っていうのがお決まりな感じがするのですが、台湾ではスカートを履く女の子とズボンを履く女の子では半々であるように感じます。冬だと、ほぼみんなスカートではなくズボンを履きます。スカートとは違って足が冷えないし、かつ動きやすいので私は冬の間はずっとズボンを履いていました。入学式の日以来制服のスカートは一度も履いていません。

#### ③ 学校のトイレにトイレットペーパーが…

ありません（泣）そして、流せません（泣）

ちなみに、台湾の公衆トイレはトイレットペーパーが無く、かつ流せないのが多いです。なんで流せないのかというと、つまりの原因になるからです。けど私は台湾に来てなんども間違えて流しています笑。幸いつまらせたことはありません。地下鉄のトイレのように、トイレットペーパーが備え付けられてあってかつ流せるという場所もちろんあります。けど少数派ですね～

学校にはトイレットペーパーあるだろうな～と思ってたので、最初は驚きました。もう慣れましたが、毎回トイレに行くたびにティッシュを持っていくのが今でも少し不便に感じます。これから台湾に行く予定のある方は、気をつけてください。あ、ゴールデンウィーク台湾に行ったよ～という人もいかもしれませんがね。もっと早めにレポート書けば良かった～すみませーん！もしこれから台湾に行く予定があるという人は、ティッシュを持参することと、ティッシュを流すのではなく側にあるゴミ箱に捨てることを忘れずに～^^

#### ④ 結構適当

これは校則の事を指しているのですが、うーん、適当ですね。携帯も授業中普通に使ってるし（本当はだめです）、ゲームしてるし、ドラマ見てるし、先生も注意はするのですが、取り上げたりはしないのでみんな使用続行します笑（いいのかいいのか..）ここには書ききれないのですが、校則がとても緩いです。ちなみにメイクをしてもいいし、ピアスなどアクセサリーを身に付けても大丈夫です。すごく自由ですよ。

#### ⑤ 学校によって私服デーが定められている

この制度はとっても気に入っています！私の学校の場合毎週水曜日が私服デーで、私服を着て学校に来てもいい日になっています。いつもは体育着か制服しか着れない学校の日も私服を着て登校すると大学生になったようで、毎週水曜日はとっても楽しみなんです。

#### ⑥ お昼寝の時間がある

台湾の学校には、お昼寝の時間があります。これはとってもとっても素晴らしいと思います笑

学校によって時間は異なりますが、30分～40分ほどです。私の学校は30分です。このお昼寝の時間のおかげで午後の授業も眠くなりません。ちゃんと眠っているかどうか毎日係の人がチェックしに来ますよ。

今回は学校の生活面編について紹介しました！どうでしたか？向陽高校との違いを感じることができたでしょうか^^

さて、前回はインタビューされた時のことを書いて、今回は何を書こうかな～と考えていたのですが・・・考えれば考えるほどあれも書きたい、これも書きたい・・・ってたくさん出てきたので、とりあえず今回は一番最初に思い浮かんだ「台湾版ベジタリアン」について紹介したいと思います^^引き続き最後まで読んでもらえたら嬉しいです。

“素食”という言葉、ご存知でしょうか？そうです。質素な食事・・・ではなくて、台湾版ベジタリアン向けの精進料理（菜食料理）という意味です。台湾は意外にも、ベジタリアンの方が多いんですよ～一説によると、国民の10%はベジタリアンだとか！人数でいうと数百万人です。多いですよ。ね。素食の人は宗教上（仏教や道教など）、あるいはその他（素食の家庭で育ったからなど）の理由から、三厭（空を飛ぶ鳥、地を這う牛、豚、水中の魚介類）および五葷（ネギ、ニラ、ラッキョウ、玉ねぎ、ニンニク）を食べることができません。また、中には牛乳や卵など乳製品を取らない“全素”の方もいます。逆に、卵や牛乳は食べるという人を“奶素”と呼びます。

そのため台湾には素食向けのレストランや出店がたくさんあります。以前素食の仲の良い友だちと素食向けの牛肉麵を食べに行ったのですが、とっても美味しかったです。もちろん牛肉を使っているわけではなく、肉に見立てた素食向けの大豆で作られたお肉を使用しています。味も見た目もお肉そっくりでびっくりしました。その仲の良い子とはよく遊びに行ったり、普段も一緒にいるのですが、ときどき美味しさを一緒に共有できなくてちょっと悲しくなる時があります。この前「このお菓子美味しい！食べてみて」って私がお菓子に言ったら、「このお菓子玉ねぎのパウダーが含まれているから食べられないんだ」というふうに言われた時がありました。

今度は学校の売店で売られていたフライドポテトを買った時、ポテトなら大丈夫でしょ～と思ってその子に「このフライドポテト食べる？」と言ったのですが、「チキンと一緒に揚げられているかもしれないから、大丈夫」と言われました。

その子と出会って毎日たくさんの動物製品を口にしている、毎日たくさんの命を頂いているんだと改めて気づくことができました。

台湾のお菓子や食べ物の多くには、「全素」か「奶素」と表記されています。「全素」は、乳製品を含むすべての動物性食品と五葷を含まない食べ物のことで、「奶素」は乳製品以外の動物性食品と五葷を含まない食べ物のことです。奶素の食品だと私の友人も口にすることができるので、お菓子などを買う際は奶素もしくは全素の食品を買うようにしています。

今回は学校生活の生活面編についてと、素食について紹介しました。どうでしたか？また台湾についての理解が深まったでしょうか^^

思った以上に文が長くなってしまい、すみません。読みづらい箇所もたくさんあったかと思います。

次回は、台湾に来て感じた日本との違い生活面編と、私の一日について紹介したいと思います！

それでは最後に、使える？中国語を紹介したいと思います～す。

kàn nǐ

今回紹介する中国語は、「看你」という中国語です。この中国語は2つ意味があって、あなたと見るというそのままの意味と、あなたにまかせるという意味があります。

何を注文するか迷っている時、もしくは相手の考えにまかせたい時などに使えます。

nǐxiǎngmǎinǎnyige kànnǐ a

你想买哪一个？--- 看你啊 どれ買いたい？ --- あなたにまかせよう

というふうに使えますよ。使う機会があれば、ぜひ使ってみてくださいね☆

長いレポート最後まで読んでくださりありがとうございました。

次回のレポートもぜひ読んでもらえたら嬉しいです^^